

ミニノート PC、消費が冷え込む中で急速に普及

4 人に 1 人がすでに購入、所有者の 8 割が「満足」

～非所有者の半数が、低価格化や高性能化により購入を検討～

詳細結果：<http://kakaku.com/research/backnumber025.html>

株式会社カカコムが運営する購買支援サイト「価格.com (<http://kakaku.com/>)」が実施したユーザーへの意識調査「価格.comリサーチ」より、第25回調査『ミニノートPC徹底調査！』結果を一部抜粋の上ご案内します。2008年1月の発売以降ノートPC市場でのシェアを急激に伸ばし、消費全体が冷え込む中であっても話題の商品となったミニノートPC。発売開始から約1年が経ち、消費者の所有率や利用状況、今後の購買意向などを調査しました。

【調査方法・ユーザーパネルについて】

調査エリア：全国 調査対象：価格.comID 登録ユーザー

調査方法：価格.com サイトでの Web アンケート調査

回答者数：5,105 人 男女比率：男 91.7%：女 8.3% 調査期間：2008年12月16日～2008年12月24日

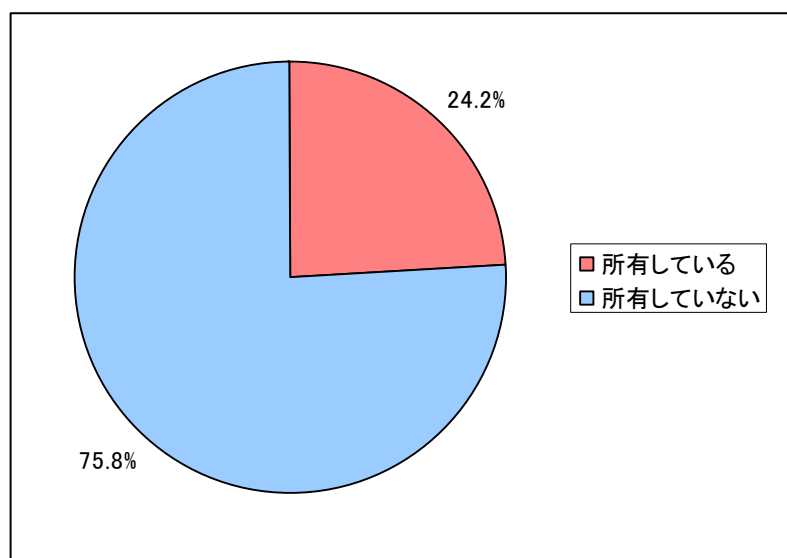
調査実施機関：株式会社カカコム

所有率：わずか 1 年で急速に普及！回答者の 4 人に 1 人がミニノート PC を所有

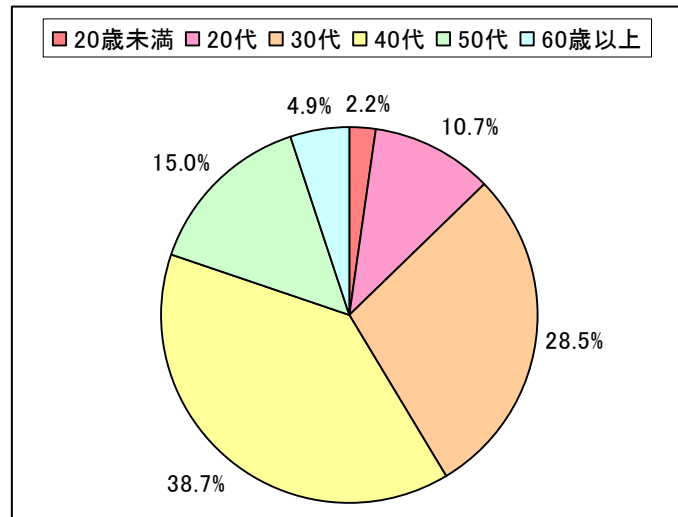
価格.com ユーザーのミニノート PC の所有率はなんと 24.2%。約 4 人に 1 人がミニノート PC を所有しているという結果になった。ブームの火付け役となった ASUSTeK の「Eee PC」が登場したのが 2008 年 1 月なので、わずか 1 年間でここまで広く普及したことになる。これは驚きだ。

世代別に見ると、40 代が 38.7% ともっとも高く、次いで 30 代の 28.5% という結果になった。逆に 20 歳未満は、わずか 2.2% である。「100 ドル PC」で掲げられたミニノート PC の主要なテーマの 1 つは、「PC を買えない学生や子供にも手軽に触れられる PC を」ということだったが、いざフタを開けてみると、PC をすでに複数所有していると考えられる、働き盛りの 30～40 代が中心となって購入していることがわかる。

【図 1. ミニノート PC を所有していますか？】



【図 1-2. ミニノート PC の所有者の世代別内訳】



所有シェア:「Eee PC シリーズ」・「Aspire One」で半数を占める

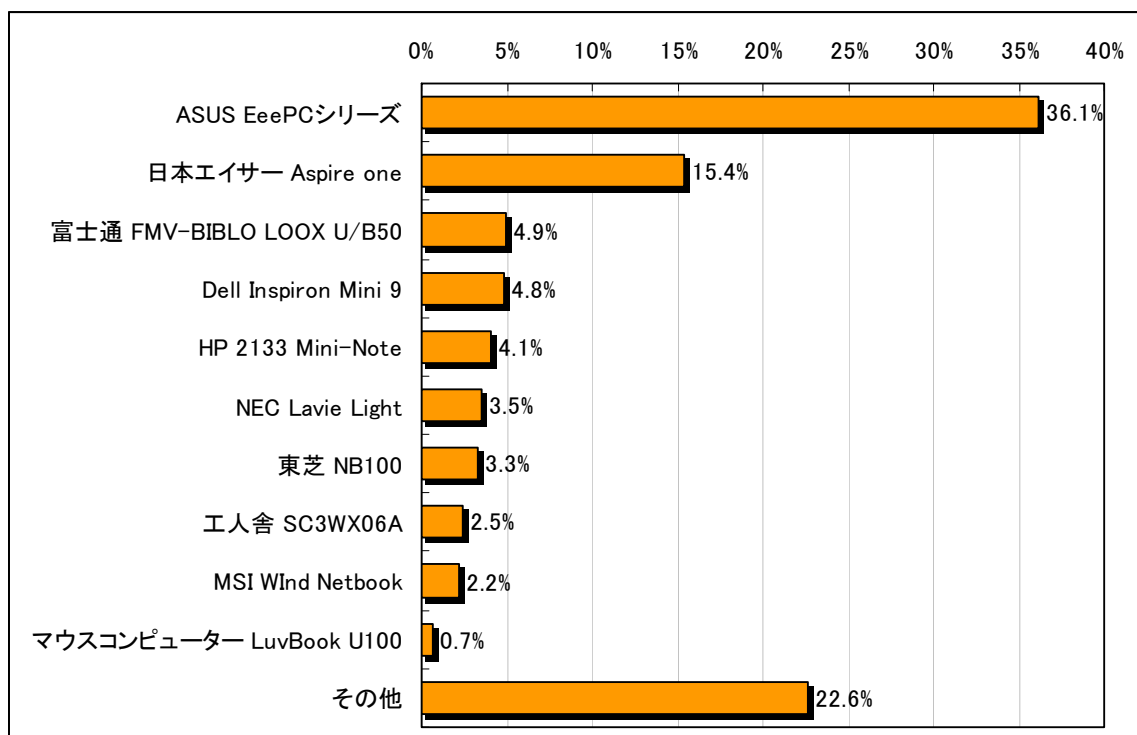
所有シェアでダントツとなったのが、ブームの火付け役ともなった ASUSTeK の「Eee PC シリーズ」である。約 1 年前に他社に先行して販売を開始したこと、その後のモデルチェンジによって、常に他社より一歩先の性能を提供してきたことが大きく影響し、36.1%という圧倒的なシェアを獲得したと考えられる。

次点は Acer の「Aspire One」で、所有率は 15.4%となった。「Aspire One」は、国内販売が開始は 2008 年 8 月と、ASUSTeK の「Eee PC シリーズ」よりも半年以上遅れているが、その完成度の高さがマニア層からも広く支持されており、半年に満たない販売期間としては驚異的な売り上げを見せている。

ASUSTeK の「Eee PC」と、Acer の「Aspire One」、この 2 つのシリーズのシェアだけで 51.5%になり、ほかの機種については、いずれもシェアで 5%以下という結果になっていることから、今のミニノート PC ブームを牽引しているのは、間違いなくこの 2 シリーズであることが明らかとなった形だ。

なお、22.6%の「その他」には、現在のブーム以前に発売されていたミニノート PC (ソニーの「VAIO U」富士通の「FM-V LOOX」など) が含まれており、以前からのユーザーも相当数存在することがわかる。

【図 2. 以下の製品を購入されたことがありますか？
複数台お持ちの方は、最も使用頻度の高いものをお選びください】

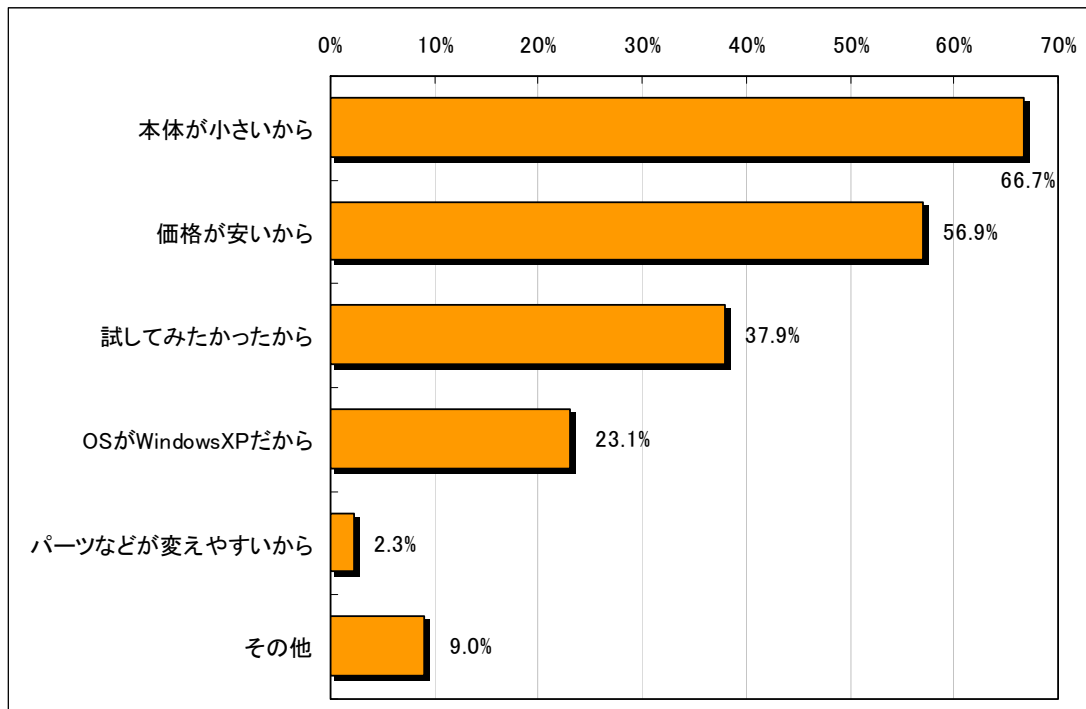


購入理由:1位は「本体が小さい」、次いで「価格が安い」、「試してみたかったから」

購入理由でもっとも多かった回答は「本体が小さいから」(66.7%)。次いで、「価格が安いから」(56.9%)という結果になった。現在のミニノート PC ブームの理由はこの2点にほぼ絞られるが、ユーザーの多くは「モバイル用途のセカンドPC」としてミニノート PC を購入しており、単純に安いという理由ではなく、モバイル用途で使うのに最適なサイズであることが大きな購入理由となっている。

なお、「試してみたかったから」という回答が37.9%あるが、こちらは、PCを半分は趣味としてとらえているようなヘビーユーザーによるホビータン要素が強い。実売価格が非常に安いこともあり、「いじって遊べる趣味としてのPC」という感覚で購入に至るケースも多いようだ。

【図3. ミニノート PC を購入された理由をお選びください (複数回答)】



満足度:約8割が「満足」と回答!「5万円とは思えない完成度の高さ」が評価される

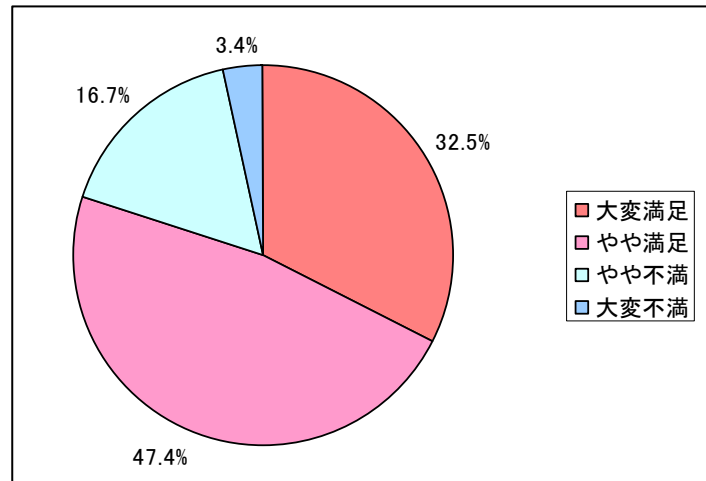
ミニノート PC を所有している回答者に満足度を聞いたところ、「大変満足」と答えた人が32.5%、「やや満足」と答えた人が47.4%で、合わせて約8割が満足と高い結果となった。

フリーアンサーの理由としては、多くの人はず「コンパクト・軽量」という携帯性をあげた。モバイルノートの多くは1kg以上となるが、ミニノート PC は1kgを下回る製品がほとんど。非常にコンパクトなボディでカバンに入れても大して気にならない製品もある。このように優れた携帯性に加え、メールやインターネット、オフィスドキュメントの閲覧など、外出先での利用に適した機能を備えている点が、大きな魅力となっている。また、「値段に対して十分すぎる性能」という意見も多かった。実勢価格では5万円前後で買えるミニノート PC が多いが、満足と答えた人の多くが「5万円とは思えない完成度の高さ」という点を評価している。中でも、「Windows XP」を OS に採用したモデルについては、「OS の起動が早く大変満足」という意見が多く、「起動の遅さ」を見事に克服した製品として評価が高い。このほか、無線 LAN や Bluetooth などの基本インターフェイスが充実している点や、バッテリーの持続時間、デザイン性などについても、全体的には評価が高かった。逆に、不満点をあげた人の多くが、「やはりパワー不足」「画面が小さい」「メモリー容量が少ない」「キーボードが打ちづらい」という点をあげている。用途にもよるが、一般のノート PC などと比べた場合に処理速度が遅いのが、これらミニノート PC の弱点だが、OS に Windows Vista を採用している場合など、特に処理に時間がかかることがあるようで、こうしたモデルについては不満をあげる人が多かった。このほか、バッテリー駆動時間については、「もう少し長く保ってほしい」といった意見が多かった。

【満足度の理由 (フリーアンサー) 詳細は以下の URL にてご確認ください】

<http://kakaku.com/research/backnumber025.html>

【図4. 購入された製品の満足度をお選びください】



利用場所:ビジネス用途が主だが、約7割が自宅でも利用

主に使用する場所で一番多かったのは「自宅」で、72.8%という結果になった。もちろんこれは複数回答なので、「自宅+外出先」という組み合わせが最も多いと思われるが、それにしても、意外に外出先よりも自宅でミニノートPCを使用している率が高いことに驚かされる。

マニア層が「いじって遊べる趣味としてのPC」として自宅で使用しているケースもあり、単純に「ミニノート=モバイル」とは言い切れない部分もある。

自宅を除いた外出先では、「ホテルなどの宿泊施設」が45.0%と最も高く、やはり出張先で仕事やインターネット閲覧の利用ケースが多いように見受けられる。次いで、「職場」(34.0%)、「カフェ・ファーストフード店」(33.0%)となるが、やはりどちらかといえばビジネス、あるいはビジネスの合間の息抜きといった用途でミニノートPCを利用する人が多いように思われる。

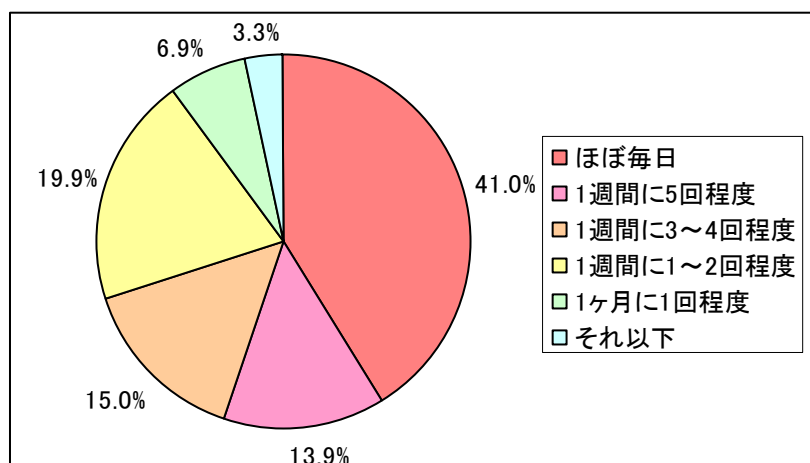
【ミニノートPCを利用する場所をお選びください(複数回答)】

グラフは右記URLにてご確認ください <http://kakaku.com/research/backnumber025.html>

利用頻度:半数がほぼ毎日利用、週1~2回利用のライトユーザーも約2割

利用頻度でもっとも多かったのが「ほぼ毎日」で41.0%。この数値はかなり高い。「1週間に5回程度」(13.9%)と合わせると実に54.9%にもものぼり、半数以上の人々がほぼ毎日ミニノートPCをなんらかの形で利用しているという結果になった。ミニノートPCをビジネスで利用しているユーザーが多いことから、このような結果になったものと思われるが、「モバイルノートPC」と呼ばれる、やや上のクラスの製品と比べてもかなり高い稼働率と考えられる。この結果を見る限り、ミニノートPCは「かなり使われている」と見るのが妥当であろう。なお、「1週間に1~2回程度」と答えた割合も19.9%と比較的高い。「ビジネス用途ではあるが、毎日持ち歩くほどではなく、必要に応じて使う程度」といった利用シーンが思い浮かぶが、こうしたライトな用途でも、手軽に購入できるミニノートPCであれば、利用目的にかなっていると言っていることができるだろう。

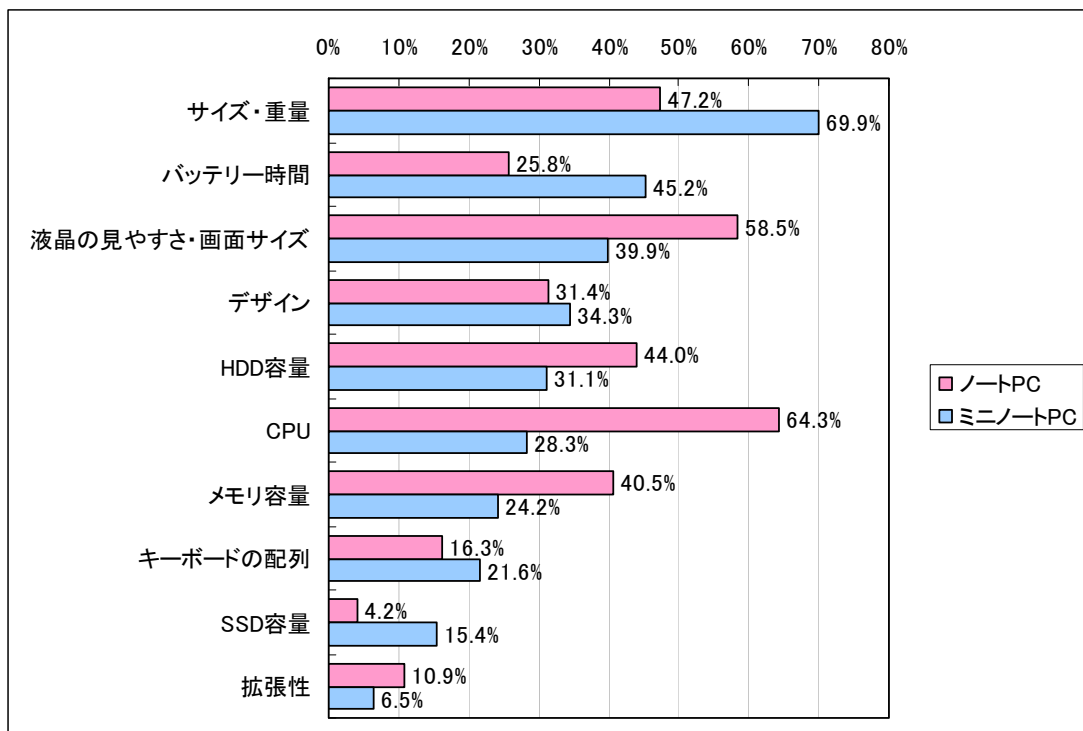
【図5. ミニノートPCを利用する頻度をお選びください】



購入時に重視した機能:1位「サイズ・重量」、次いで「バッテリー時間」

一般のノート PC とミニノート PC で、購入時に注目する点の違いを聞いた。印象的なのは、ノート PC では「CPU」(64.3%)、「液晶の見やすさ・画面サイズ」(58.5%) が重視されるのに対し、ミニノート PC では、「サイズ・重量」(69.9%)、「バッテリー時間」(45.2%) と続くことだ。これは、ノート PC が、家の中でのメインマシンとしても考えられるのに対して、ミニノート PC が完全にモバイル用途として考えられていることを表している。実際、ミニノート PC では、CPU や HDD などのスペックはあまり重視されておらず、「デザイン」の 34.3%を下回る程度となっている。ただし、「液晶の見やすさ・画面サイズ」は 39.9%と比較的高い値を示しており、用途にもよるが、ある程度の画面解像度を求めるユーザーの比率は高いといえる。

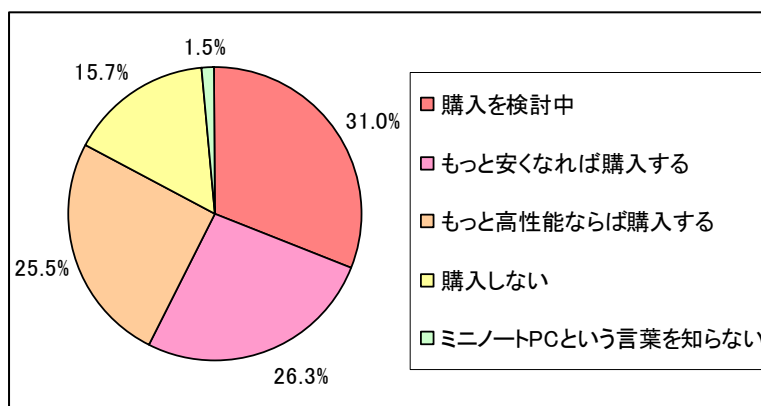
【図 6. ノート PC とミニノート PC を購入する際に重視した機能または性能 (複数回答)】



今後の購買意欲:「購入を検討中」が 3 割、半数が価格や性能などの条件が整えば購入を検討

ミニノート PC を所有していない人の、今後の購買意欲については、「購入しない」という回答が 15.7%とかなり少ない結果となった。それ以外の 8 割以上の方は、条件次第で購入を検討していることになる。なかでも「実際に購入を検討している」と答えた人がもっとも多く、31.0%となった。まだ購入していない回答者のうち 3 分の 1 は購入検討中ということで、購買意欲はかなり高いといえる。一方「条件によっては購入を検討する」とした人の回答は大きく 2 つに分かれたが、価格面と性能面の条件を重視する回答者の割合はほぼ同じという結果になった。

【図 7. 今後のミニノート PC の購買意欲】(図 1 で所有していないと選択した方に質問)



【ミニノート PC をどのように使われていますか？（フリーアンサー）】

【ミニノート PC が流行した理由は何だと思えますか？（フリーアンサー）】

詳細結果は右記URLにてご確認いただけます <http://kakaku.com/research/backnumber025.html>

■総評 鎌田剛 カカクコム メディアクリエイティブ部 部長

今回の調査結果でまず驚いたのが、ミニノート PC の所有率の高さだ。

比較的、IT 製品に対する知識が豊富で、購買意欲も旺盛な価格.com ユーザーを調査対象としていることを差し引いても、すでに 4 人に 1 人がミニノート PC を所有していることは非常に印象的な結果である。ブームが始まってから 1 年足らずであることを考えると、驚異的なスピードでミニノート PC が浸透していることがわかる。所有していないユーザーでも、その 3 分の 1 が購入を検討しており、購買意欲はまだまだ衰えていないようだ。

このミニノート PC のブームを牽引したのは、最初に発売した ASUSTeK の「Eee PC シリーズ」であるが、2008 年夏に製品を投入した Acer の「Aspire One」が、これを猛追撃している。データ通信カードとのセット販売などによって、かなりの低料金で購入できるといった条件の良さもあるものの、この 2 シリーズだけで全体シェアの半分以上を占めている。ミニノート PC 市場には数多くのメーカーが参入したが、2008 年はこの 2 社が圧倒的優位を占めた形となりそうだ。この流れに乗るように、国内メーカーもミニノート PC を次々と発表しているが、まだこの 2 社には及ばないようである。

製品に対する満足度に関しても興味深い結果が出ており、実に 8 割を超えるユーザーが製品に対して「満足」と回答した。一般のノート PC に比べて性能で劣るミニノート PC ではあるが、多くのユーザーがミニノート PC の性能に対し、「案外使える」という実感を持っていることがわかる。購入した人の多くが、評価する点として「5 万円程度とは思えない作りのよさ」をあげているように、ミニノート PC の完成度は全体的に高く、決して「安かろう、悪かろう」ではないことがうかがえる結果となった。

利用頻度もかなり高く、「ほぼ毎日使う」「1 週間に 5 回程度使う」と答えたユーザーの合計数は、半数を超える。利用シーンも、家庭内のサブ PC から、会社内や外出先でのインターネット端末としての用途まで実に幅広い。これまでノート PC で行っていた外出先でのプレゼンテーションや、リモートアクセスなどの用途でも、ミニノート PC を利用しているユーザーが多く、すでにミニノート PC は本格的なビジネスの領域にも浸透しつつあるようだ。

こうして見ると、現在のミニノート PC の人気は、これまでひたすら高性能化を進めてきたノート PC に対する 1 つの反証といえるかもしれない。高付加価値の製品を高値で売りたいというのがメーカーの本音だろうが、ユーザーの中では「それほど高性能でなくてもいいから、手軽に持ち運べて、しかも安い PC が欲しい」という潜在的ニーズがこの数年高まってきていた。こうした状況にあって非常にいいタイミングで投入されたミニノート PC の人気に火がついたのは、ある意味では自然な成り行きともいえる。

2008 年のミニノート PC 人気を受け、2009 年には国内メーカーがどのように巻き返しを図っていくのか、そしてノート PC 市場がどのように変化していくのか。今から非常に楽しみだ。

※フリーアンサーを含む詳細結果、および過去のリサーチアーカイブは以下 URL をご参照ください
<http://kakaku.com/research/backnumber.html>

【価格.com について】

パソコン、家電、カメラをはじめ、ブロードバンドや携帯料金プラン、自動車保険、生命保険など 3,090 万点の商品・サービス情報を掲載。

月間利用者は、約 1,728 万人（重複なし）、蓄積されたクチコミは累計で約 890 万件。

（データは 2008 年 12 月末現在）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社カカクコム 広報担当 内山 甲斐

e-mail: pr@kakaku.com Tel:03-5805-7511